

令和4年度 第2回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和4年10月6日（木）10：00～12：00

○場所：ほしらんどくだまつ サルビアホールA

○出席委員：19名（欠席3名）

真鍋委員、河合委員、河内委員、中村委員、河村委員、清水委員、六反委員（代理：岩本委員）、相本委員、西村委員、古田尊委員、山田委員、弘中委員、壽恵村委員、久保田委員、田川委員、古田健委員、渡邊委員、安野委員、瀬来委員

○事務局：企画政策課

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 下松市地域公共交通計画について

地域公共交通計画の策定について

- ・資料1-1を基に地域公共交通計画の概要について山田委員から説明。
- ・地域公共交通計画は、地域公共交通のあり方について自治体の考え方を示すマスタープランであり、令和2年の法律改正に基づき、策定が努力義務化された。
- ・地域公共交通網形成計画と異なるポイント、計画への記載事項、目標設定と評価について説明。

- ・資料1-2を基に計画策定の今後のスケジュールについて事務局から説明。
- ・12月に開催する第3回協議会で事業案と目標値を設定して計画書の素案を固め、その後パブリックコメントを実施、その結果を踏まえて2月～3月ごろに開催する第4回協議会での成案を予定としている。

発言者	発言要旨
会長	質問、意見はないか。
委員	交通計画の目標設定について、広域に跨るバス路線が多くある。1つの路線について地方公共団体ごとに目標値が違っていると困るが、これはすり合わせをする予定か。できれば広域路線については県でまとめていただけるとありがたいが、県としてはどうか。
事務局	市内完結だけではなく、周南市、光市、柳井市に跨る路線もあることから目標値の整合が取れていないといけない。目標値はご意見を踏まえて検討していきたい。
委員	バスに限らず、事務局からこれから検討という話もあり、支局からも説明があったが、まちづくりや各地域の実情を踏まえて、各自治体で作っていただ

	くようになっている。目標設定の仕方にもよるのかもしれないが、各地域で状況が異なるので、県が音頭を取って全体をまとめるというのは現時点では考えていない。
会 長	市も他市と連携をとっているので可能な限り対応していきたい。公共交通マップの作成や観光の面でも、そのような観点は取り入れていきたい。

各種調査結果と下松市の公共交通の課題について

- ・資料2-1、資料2-2を基に各種調査の実施状況と現況調査の結果について業務委託業者バイタルリードから説明。
- ・各種アンケート・ヒアリング調査はほぼ実施済、詳細の結果については時間の都合で説明はしないが、参考資料を参照していただきたい。
- ・下松市の人口は今後ゆるやかに減少が見込まれる。現在は下松地区・花岡地区・末武地区に人口が集中。目的地となる施設も同様に立地しており、周南市にも跨る形で市街地が形成されている。
- ・観光資源は笠戸地区や米川地区に自然に関する観光拠点、花岡地区に歴史観光拠点がある。
- ・通勤通学では、周南市や光市との間での流動が多い。通勤は自家用車が多く、高校への通学は自転車その他、市外の高校へは鉄道の利用が多い。
- ・市民アンケートの結果を見ると、買い物は下松地区・末武地区・花岡地区・久保地区へ行かれる方が多い。通院は下松地区の他、周南市南部へ行かれる方も多い。
- ・免許返納者は近年200～300人程度で推移している。下松市では返納者への記念品配付も実施している。
- ・下松市内の駅別の乗車人員は、令和2年度以降はコロナの影響もあり大きく減少。岩徳線の輸送密度は以前と比較して大きく減少している。
- ・鉄道に関する近年の動きとして、山陽本線において交通系ICカード「ICOCA」の利用範囲が広がったこと、下松駅のみどりの窓口の閉鎖などがある。
- ・市内の路線バスは防長交通と中国ジェイアールバス株式会社により運行されており、米川地区は市町村有償運送によりコミュニティバス米泉号が運行されている。路線バス等の利用者数は令和2年度以降はコロナの影響で特に大きく減少している。
- ・朝夕は定期券の利用が多く、日中は現金払いが多い。
- ・バス停間の移動をみると、徳山駅を中心とする周南市内での乗降や、周南市～下松市間の乗降が多く、下松市内の乗降は少ない。
- ・路線バス運行会社の欠損額は、利用者の減少に応じて近年多くなっている。
- ・バス運転士の不足と高齢化も進んでいる。
- ・タクシーは市内に4か所営業所がある。利用者数の公開データは現時点で令和元年度までしかないが、タクシー事業者によるとコロナの影響で減少しているということである。
- ・その他の移送サービスとして、米川地区のあったか便、スクールバス、個別の輸送バスがある。また、高齢者を対象としたバス利用助成事業が実施されている。
- ・市の財政支出として、路線バスへの補助、スクールバス委託費、米泉号委託費、高齢者バス利用助成があり、令和2年度は合計で1億円を超過した。

- ・公共交通によるカバー状況を見ると、久保地区や花岡地区、末武地区の一部などにおいてバス停等から離れたエリアがある。
- ・各種上位・関連計画と調和・整合を図りながら本計画を作成する。

発言者	発言要旨
会 長	現計画に基づき事業を実施してきたが、その間に様々な背景もあった。質問、意見はないか。
委 員	資料の補足説明をしたい。資料2-2 19ページの表について、バスの運転士が充足しているように見えるが、万が一のときにのみ対応する事務職兼務の人員を含んでいるため、実際には不足している。この部分については市民の方にも誤解がないように書き方を変えていただきたい。
事務局	あくまで兼務で実際の数は不足しているということで、誤解を生まないように数値ではなくヒアリングでの言葉にするなど、次回の資料には反映したい。
会 長	担い手不足は大きな課題と認識している。そこは分かるようにしたい。
委 員	資料2-2 26ページの玉鶴の送迎バスについて、運行主体が間違っている。
事務局	修正を行い、次回の会議に反映する。
会 長	内容について誤記があれば申し訳ない。その他ご意見等があればお願いしたい。
委 員	運転手不足については、単純に不足しているのに加え、今いる運転手が高齢化していることも課題。今後、高齢化に伴い自然減する見込みである。募集もかけているがなかなか応募が少なく、厳しい状況である。路線を維持していきたいと思うが、運転手不足解消の目途がたっていない。そのため、やむを得ず縮小することになるかもしれないがご理解いただきたい。
会 長	今後の計画での検討としたい。他に意見はないか。あれば意見シートにてご提出いただきたい。

- ・資料2-3、資料2-4を基に事務局から説明。
- ・前計画で定めた目標と、目標達成のために実施する事業について、実施事業と目標値をまとめている。
- ・以上を踏まえ、課題の案として、以下7つを挙げる。
 - ①鉄道のより一層の利用促進とあり方の検討
 - ②まちづくりと連携した幹線路線バスの維持強化
 - ③地区の実情に応じた支線の見直しと不便地区における交通弱者対応
 - ④気軽に安心して使える利用環境の実現
 - ⑤担い手不足の解消とデジタル化による生産性向上
 - ⑥公共交通を利用するきっかけと習慣づくり
 - ⑦公共交通に関わる関係者間の連携強化

発言者	発言要旨
会 長	現在の事業評価（資料 2－3）、昨今の社会現象（資料 2－2、2－4）、各団体・事業者・商業事業者・行政等（資料 2－1）、この 3つを組み合わせで新しい計画を作っていくという考え方かと思う。
委 員	今後の計画について 3 点を踏まえて計画を作ると言われた。コロナの影響が大きく、事業者としてはコロナ発生前の利用状況には完全には戻らないと推測している。今は回復傾向にはあり、8割くらい戻っているところである。そのあたりをしっかりと考慮して昨今の利用状況を見て検討していただきたい。
事務局	目標値は現状維持かやや増で設定している。他自治体の計画でも同様の傾向である。コロナの影響を鑑みて次回の協議会では根拠もあわせて目標を提示し、設定していきたい。
会 長	コロナの影響も計画には反映していきたい。 資料 2－4 を見ると、前計画と変わっていると感じる。交通不便地区や課題⑦にあるように、福祉分野や市民との役割分担は市でも課題と感じている。福祉団体や市民団体、道路管理者等にもご意見を伺いたい。 今までの計画の評価と今の社会現象、市民の意見を踏まえた計画となる。具体的な策については現時点ではできていないが、次の協議会で提示したい。

下松市地域公共交通計画骨子案について

- ・資料 3－1 を基に骨子案について事務局から説明。
- ・基本理念は、持続可能であることを重要と考え「未来へつなぐ」を強調したい。
- ・現時点の案であるので、意見書においてご意見をいただきたい。事業については他自治体の計画も参考にして例と示している。具体的には次回の協議会で示す。

発言者	発言要旨
会 長	新しい計画の概念、目標の案までを示した。具体的な事業は次回の協議会で示すということであった。 ご意見、ご質問等はあるか。
	(なし)
会 長	コロナの影響、担い手不足も盛り込んでいる。広域的な観点も踏まえた事業例を検討していきたい。また意見があれば、他自治体の事例でもいいので、意見書にてお示しいただきたい。

意見書の提出について

- ・資料 4－1 を基に意見書の提出について事務局から説明。
- ・各委員の専門の目線からの意見もぜひいただきたい。

- ・いただいた内容は次回の協議会で報告する。

発言者	発言要旨
会 長	不明な点はあるか。 他に全体を通してご意見等あるか。
	(なし)
会 長	事務局から何かあるか。
事務局	次回協議会は12月22日(木)または23日(金)と考えている。日程が決まり次第連絡する。

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	真鍋 俊幸
2	防長交通株式会社	営業部長	河合 貴志
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部生活交通活性化推進室 室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社 広島支社	山口地域共生室 課長	中村 恭昌
5	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	シニアクラブ下松	会長	六反 弘道
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	西村 和歌子
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	下松市	健康福祉部長	瀬来 輝夫
13	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	山田 敏行
14	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部周南分会	分会長	弘中 賢男
15	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	三浦 道人
16	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	壽恵村 良成
17	下松市	建設部長	久保田 幹也
18	下松警察署	交通課長	田川 勇
19	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
20	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	渡邊 昭博
21	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
22	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩